

# 大空間向け除菌システムで実証実験

〈空間除菌、新晃工業、東洋熱工業など各社〉

## 数回実施し有効性確認

空間除菌(社長・森久彦氏)、東洋熱工業(社長・芝一治氏)、新晃工業(社長・末永聡氏)、NS Fエンゲージメント(社長・廣松茂氏)は、食品添加物、殺菌料メーカーである本部三慶(社長・合田学剛氏)と、コンサートホール「Zep(ゼップ)」を運営するZepホールネ

ットワーク(社長・上原昌氏)の協力のもと、「Zeppaneda(Tokyo)」(東京都大田区)において、既存の空調設備に付設する大空間向け除菌システムの実用化に向けた実証実験を実施した。

四社は今後共同で「Zeppaneda(Tokyo)」などにおいて実証実験を継続して最適化の考察などを行い、ホールや劇場、オフィス、工場などの大空間における空気感染予防対策として、同システムの製品化を目指す方針。

四社は、大空間における安全・安心な室内環境の提供を目指す、空調設備向け除菌システムを新たに開発した。三千人規模のコンサートホール「Zeppaneda(Tokyo)」で二〇二〇年九月から実証実験を複数回にわたって実施し、有効性を確認した。

実証実験では、本部三慶が製造特許を有する「クロラス酸水」(亜塩素酸水)を採用した。クロラス酸水は、食品工場や飲食店・スーパーマーケットなどで実

績のある除菌剤で、多様な細菌・ウイルス・カビに対して優れた除菌力を有し、噴霧での除菌効果も第三者機関によって実証されている。

同システムは、空間除菌が開発した専用の噴霧ユニットによってクロラス酸水の微細なミストを生成する。独自の特許技術によって一般的な加湿器では難しい〇・三〜〇・五mmの粒子径を実現、空気中で落下しにくく拡散するため、空間で長く滞留することができ、このミストを既存の空調設備を介して空間に行き渡らせることで、大空間の空气中に浮遊する細菌やウイルスなどの除菌を行うもの。